

投資の基礎講座 「金利の上昇が債券価格に与える影響」

日銀の量的緩和政策解除の後、中長期の金利が上昇してきています。3月30日には10年国債利回りが一時1.8%に乗せてきました。金利上昇(利回り上昇)が債券の価格にどの程度影響があったのでしょうか。今年の1月発行の10年国債(第275回債)の利率は1.4%、発行価格は99円82銭で応募者利回りは1.42%でした。3月31日の利回りは1.775%になっています。

債券の価格は
$$\text{債券価格} = \frac{100 + \text{クーポン} \times \text{残存年数}}{1 + \text{利回り} \times \text{残存年数}}$$
 で計算できます。(単利計算)

第275回債の償還日は平成27年12月20日ですから、残存年数は9.7219年です。

$$\text{債券価格} = \frac{100 + 1.40 \times 9.7219\text{年}}{1 + 0.01775 \times 9.7219\text{年}} = 96.891$$

したがって、この債券を額面100万円発行時に購入したとすると、998,200円だったものが、3ヵ月後には968,910円に値下がりしたことになります。

先週の金融市場データ

週間高低表(終値ベース)	週初	高値	安値	週末終値
日経平均株価	16,650.10円	17,059.66円	16,650.10円	17,059.66円
TOPIX	1,693.84	1,728.16	1,692.69	1,728.16
東証1部単純平均	548.47円	551.75円	542.19円	551.68円
東証1部売買高	1,604,858千株	2,224,742千株	1,604,858千株	1,656,108千株
ニューヨークダウ平均	11,250.11ドル	11,250.11ドル	11,109.32ドル	11,109.32ドル
NASDAQ	2,315.58	2,340.82	2,304.46	2,339.79
10年国債利回り	1.690%	1.780%	1.690%	1.770%
債券先物中心限月	134.11円	134.11円	133.15円	133.46円
無担保コールO/N	0.002%	0.004%	0.002%	0.004%
円TIBOR 1ヶ月	0.09182%	0.09273%	0.08273%	0.08273%
円TIBOR 3ヶ月	0.12818%	0.12818%	0.12636%	0.12818%
ドル/円相場	116.67円	117.86円	116.67円	117.46円
ユーロ/円相場	140.51円	142.52円	140.48円	142.52円
1ユーロ=ドル	1.2041ドル	1.2133ドル	1.1981ドル	1.2133ドル
米国FFレート	4.7500%	4.8750%	4.6250%	4.8750%
米国10年国債利回り	4.70%	4.85%	4.70%	4.85%

スーパー定期(ニュー定期)金利表

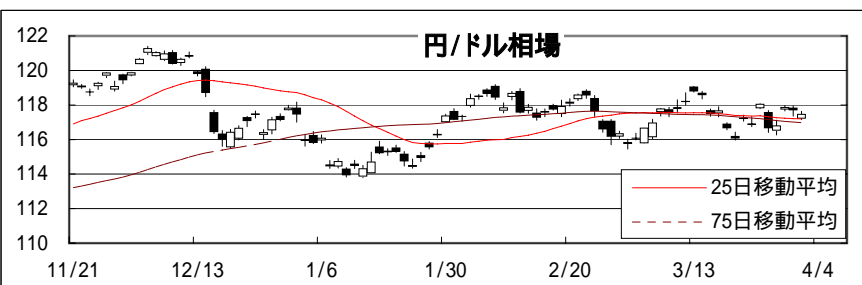
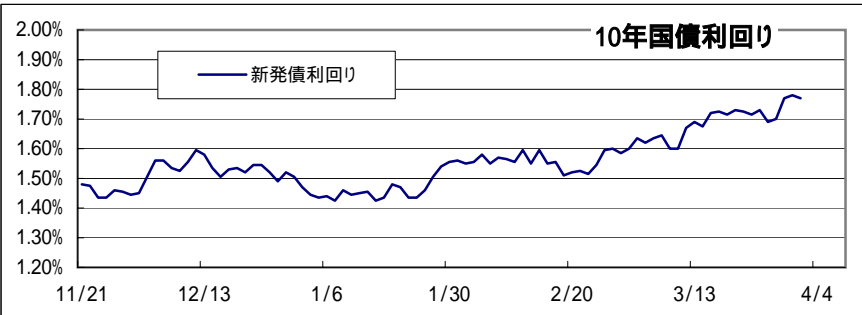
平成18年4月3日現在

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年
群馬銀行	0.02%	0.02%	0.02%	0.06%	0.08%
東和銀行	0.02%	0.02%	0.02%	0.06%	0.08%
高崎信用金庫	0.02%	0.02%	0.02%	0.06%	0.08%
郵便局	0.02%	0.02%	0.02%	0.06%	0.08%

国民年金の改正

国民年金保険料が改正され、平成18年4月から平成19年3月までの保険料は、月280円引き上げられ、月額13,860円となります。国民年金保険料は、平成29年度まで毎年度月額280円引き上げられ最終的に月額16,900円となる予定です。

国民年金には、経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除される制度がありますが、平成18年7月から、従来からの全額免除及び1/2納付(半額免除)に加え、1/4納付及び3/4納付の新しい段階が加わります。免除及び一部納付は、市区町村への申請手続きが必要です(所得審査があります)。



今週の株式相場見通し

先週の株式相場は、景気上昇傾向が続いていることや期末で機関投資家の売りが減少したこと、さらに投信の設定などもあり大きく上昇、日経平均株価が2000年8月以来の17000円乗せとなりました。

今週の株式相場は新年度入りで機関投資家の買いが入りやすいことや企業業績が好調なことから上昇基調が続くことが予想されます。しかし、上昇ペースが早いことから利益確定の売りも出やすく、値幅の大きい展開となりそうです。

先週は輸出関連株中心に値を上げる銘柄が目立ちましたが、今週は鉄鋼、海運など先週売られた銘柄に買戻しが入る可能性があります。好業績銘柄を物色する動きが続く、業績見通しや経済指標の発表に株価が振られる場面がありそうです。

今週の債券・為替相場見通し

先週の債券相場は、米FOMCで利上げが行われたことや金利上昇圧力の高まりから債券相場は軟調な展開となり、10年国債利回りは2004年8月以来の1.8%乗せとなる場面もありました。

今週の債券相場は、引き続き金利上昇圧力が強まる展開が予想されます。特に中短期ゾーンの金利は高めの動きが続くものと思います。10年国債利回りで1.73~1.85%程度での推移となりそうです。

先週の為替相場は、米国の利上げ打ち止め観測から一時1ドル=116円台前半まで円が買われましたが、利上げ継続の可能性が高まったことから117円台まで値を戻しました。

今週の為替相場は、日銀短観の状況にもよりますが、国内金利の上昇圧力もあり1ドル=117円台を中心に比較的安定した根拠と期となりそうです。

CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

本資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。ここに記載されているデータ、は信頼できる各種情報源から入手したものです。その正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は資料作成時点における個人的意見であり、ライフプラン21が保証するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。